

第8回 平成28年（2016年）熊本地震に関する  
非常災害対策本部会議

平成28年4月19日17:40~  
3号館4階幹部会議室

議事次第

1. 山本副大臣からの報告

山本副大臣

## 平成28年熊本地震についての国土交通省の対応状況

### 国土交通省の主な対応状況

#### (1) 住環境

##### ■二次的避難場所の確保

- ・「全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会（全旅連）」「日本旅館協会」「全日本シティホテル連盟」の宿泊関係3団体に対して、九州全域における旅館・ホテルへの被災者の受入れを要請。
- ・受入可能人数は熊本県で1,500人程度の見込み。他県の宿泊施設についても、全旅連より、熊本県からの要請があれば、受入用意があると回答。
- ・全旅連熊本県支部は熊本県と災害時の被災者受入協定を締結。協定に基づく宿泊施設の提供をプレスリリース。被災者による利用が図られるよう一層の情報発信に取り組む。
- ・ホテルシップについては熊本県を含め関係者と調整中。

##### ■応急的な住まいの確保等

- ・熊本県において、被災建築物の応急危険度判定を15日から実施中。大分県においては、住宅の安全性確認に関する相談窓口を設置予定。  
 ※九州以外からの判定士の確保について、国土交通省も支援を実施。  
 (20日以降、近畿、中国、四国地方の行政職員を約70名増員予定)
- ・全国の都道府県に対し、空き住戸の状況報告と被災者の入居に協力するよう要請。空き住戸の状況については以下のとおり。  
 [ 公営住宅等の空き住戸数 平成28年4月17日現在の状況  
 熊本県内：237戸 大分県内：209戸 (損傷状況等が不明のため、あくまで暫定的な戸数)  
 2県以外の九州各県合計：1,776戸※  
 ※福岡県・福岡市・北九州市は申込手続を開始(4月18日現在) ]
- ・不動産団体に対し、地方公共団体から依頼があった場合には、民間賃貸住宅の情報提供等に関して必要な協力を要請。
- ・応急仮設住宅について、地方公共団体から要請があり次第、速やかに対応できるよう(一社)プレハブ建築協会に対対応準備を要請。

##### ■飲料水等の確保

- ・海洋環境整備船等4隻、巡視船6隻および民間事業者のフェリーにより、三角港、熊本港、八代港等にて給水(飲料水)
- ・独立行政法人水資源機構が保有する可搬式浄化装置(日量50m<sup>3</sup>:約16,000人

分の飲料水を供給可能)を熊本県西原村の要請を受け派遣(4/18)

- ・ 巡視船 6 隻により食料支援、入浴・トイレ提供、携帯電話の充電等海上保安庁航空機により 17 日、生活物資を南阿蘇村へ搬送
- ・ 下水処理場については一部被害があるものの、処理機能は確保  
熊本市において主要施設を結ぶ優先順位の高い下水管は異常なし  
仮設トイレの汚泥は運搬や下水処理場での受入を含め自治体に要請

## (2) 物流

### ○幹線物流

- ・ 大手物流事業者の参画の下に、プッシュ型の支援物資を搬入する体制（トラックのほか、鉄道、内航海運）を確保。

※14 件(19 日 12 時現在) 主なもの 菓子パン、カップ麺等

### ○フィーダー物流

- ・ 食料については、日本通運 鳥栖営業所から、自衛隊が被災地まで輸送する体制を確保。
- ・ その他の支援物資については、ヤマト運輸 ロジクロス福岡久山等から物流事業者が被災地まで輸送する体制を確保。

### ○人的支援

- ・ 物流事業者の専門家を非常災害対策本部、熊本県庁等に派遣するよう指示

### ○その他

- ・ 熊本県庁から内閣府非常災害対策本部に支援依頼のあった輸送について全日本トラック協会に支援を依頼

※15 件(19 日 12 時現在) 主なもの 毛布、アルファ米、保存用パン等

- ・ 熊本県・熊本市から支援依頼のあった輸送について同県トラック協会が支援を実施

※68 件(19 日 12 時現在) 主なもの 毛布、アルファ米、飲料水等

## (3) 交通

### ■道路

#### ○高速自動車道の新たな開通状況(18 日 13 時以降)

大分自動車道(玖珠(くす)IC~湯布院(ゆふいん)IC) 22km(18 日 23:15)

#### ○通行止め状況

**【高速自動車道】**(3 路線・85km 4/18 23 時 15 分) ※復旧工事着手済

九州自動車道 植木(うえき)IC~八代(やつしろ)IC

※緑川(みどりかわ)PA付近 府領(ふりょう)跨道橋 高速道路上に落橋(撤去作業中)

※益城(ましき)バスストップ付近 盛土法面崩落(準備工事が完了し、土留め鋼材の打設開始予定)

※木山川(きやまがわ)渡河部 木山川橋 橋桁ずれ(橋梁を支える設備の設置の準備工事)  
 ※熊本IC付近 神園(こうぞの)跨道橋ほか2橋 橋脚傾斜(神園跨道橋を支える設備設置  
 作業完了。植木(うえき)IC~益城(ましき)熊本空港IC間について、本日8:45より物資  
 を輸送する車両等が通行可能)

大分自動車道 湯布院(ゆふいん)IC~別府(べっふ)IC等

※由布岳(ゆふだけ)PA付近 土砂崩落(撤去作業中)

九州中央自動車道 嘉島(かしま)JCT~小池高山(おいけたかやま)IC

【国道・県道・市町村道】(大規模被災箇所)

阿蘇大橋地区斜面崩壊(国道57号・国道325号)

※専門家の意見を聴きながら、土砂撤去用進入路の確保等のため、現地作業中

俵山トンネル(2km) 熊本県西原村 県熊本高森線(覆工コンクリート崩落)

※県の要請を受け、専門家を派遣

## ○物資輸送・渋滞対策

- ・ 植木(うえき)IC~益城熊本空港(ましきくまもとくこう)IC間につ  
いて、本日8:45より物資を輸送する車両等が通行可能
- ・ 17日(日)より、植木ICでの渋滞緩和のため、料金所ブース(自動収受機械)  
に新たに人員を配置し、処理を迅速化
- ・ 15日(金)に、広域的な対策調整の場(整備局、県、市、警察等)を設置し、  
九州道植木ICの手前のIC(菊水、南関IC)から熊本市内への流入分散な  
どの対策を検討。18日(月)から実施。  
 ※国道3号から他の道路への迂回誘導、渋滞箇所における仮設トイレ等の設置

## ■鉄道関係

### ○新たな開通状況(18日13時以降)

- ・ JR九州 鹿児島線 荒尾(あらお)駅~熊本駅…運転再開(18日13:20) ※  
 ※18日14:00一旦運転を見合わせたが、18:00過ぎ再度運転再開
- ・ 熊本電気鉄道 菊池(きくち)線……………一部運転再開(18日始発)  
 藤崎(ふじさき)線……………全線運転再開(18日始発)  
 ※その後、電力設備の不具合が発生し、現在、運転見合わせ中
- ・ 肥薩(ひさつ)おれんじ鉄道……………全線運転再開(18日16:15)
- ・ 熊本市交通局 4路線(幹線、水前寺線等)…全線運転再開(19日始発)  
健軍(けんぐん)線……………一部運転再開(19日始発)
- ・ JR九州 豊肥(ほうひ)線 熊本駅~肥後大津(ひごおおづ)駅…運転再開(19日11:51)

### ○運転休止

- ・ 新幹線 九州新幹線(全線運転休止)  
 ※熊本駅~熊本車両基地間(本線上)回送列車1本 全車脱線 車両の撤去作業を実施中  
 ※新大牟田~新水俣間の施設の点検を実施中
- ・ 在来線 4事業者8路線(運転休止)
  - ・ JR九州 4路線※
  - ・ 熊本市交通局 一部(1路線)
  - ・ 熊本電気鉄道 全線(2路線)
  - ・ 南阿蘇鉄道 全線(1路線)

※JR豊肥（ほうひ）線 赤水（あかみず）駅付近の  
踏切の回送列車脱線事故（4月17日13時29分 道路支障解消）

## ■空港関係

- ・熊本空港：24時間運用し救援業務に対応中（24日まで）で、自衛隊、JAL 貨物臨時便、米軍機（オスプレイ他）等利用。  
民間旅客便は19日から運航再開。本日は到着便は19便、出発便は15時を皮切りに順次運航予定。
- ・九州の他の空港：通常どおり運用中（大分空港において早朝の運用に対応中）  
福岡－鹿児島間等に臨時便を運航

## ■バス

- ・19日の民間機等の一部運航再開に合わせて、熊本空港からのアクセスバスも運行再開。
- ・九州の高速バス 58 路線運休。熊本市内の主要路線バスは概ね運行再開。

## （4）土砂災害

- ・土砂災害専門家による現地調査及び家屋被害発生箇所や重要交通施設の復旧に対する技術的助言等を踏まえ、緊急事業について実施調整（20日から開始予定）阿蘇大橋地区（17日）、火の鳥温泉地区・高野台地区（18日）、立野川・山王谷川（19日）
- ・震度6強以上を記録した市町村を中心に、緊急度の高い危険箇所約1100箇所に対し、テックフォース（土砂災害現地調査チーム）により点検を実施し、県及び市町村に対し応急対策や住民避難等への活用を助言（予定）
- ・土砂災害による二次災害防止のための注意喚起と土砂災害警戒情報等の適切な提供

## 市町村支援等

○TEC-FORCE 等※ 347名 ※18日260名派遣

- ・北海道開発局15、東北12、関東28、北陸26、中部29、近畿36、中国35、四国25、九州117の各地方整備局及び国総研・土木研究所等22、地理院2から派遣  
→橋梁等点検調査、道路被災等調査、UAVによる緊急撮影を実施

○リエゾン 47名 ※18日38名派遣

- ・熊本県庁6、熊本県現地対策本部2、熊本市3、益城町4、御船町2、嘉島町3、西原村3、南阿蘇村4、菊池市2、宇土市2、大津町2、大分県庁4、阿蘇市2、高森町3、菊陽町2、甲佐町2、JR九州1

○照明車、対策本部車、衛星通信車等 81台（九州、関東、中部、近畿、中国、四国の地整より派遣）

○海洋環境整備船及び海上保安庁巡視船等 47隻・日

- ・熊本港15、八代港10、三角港10、水俣港1、大分港1、別府港8、佐伯港2

# 熊本地方を震源とする地震について(国土交通省関連) 4月19日15時00分現在

